

八月十五日より十日迄、東京下谷根岸會館にて、東京地方聯合會及び同盟本部教育部主催。聴講五十六名。科目と講師は次の通り。

- 一、資本家の壟断と労働者の對策 全國労働教育部 菊川 忠雄
- 一、労働組合の組織と活動 大衆労働部長 三輪 善壯
- 一、日本經濟の現状と世界的恐慌 大衆労働部長 高橋 龜吉
- 一、唯物辯證法の理論と實際 大衆本部 角田 謙三郎
- 一、國際労働運動の大事 和田 暹
- 一、海外社會運動の發展と經驗 大衆黨教育部長 木村 毅

◆神奈川夏期労働大學。

七月六日より十五日迄、横濱市教育館に於て縣聯主催。参加者四十名。科目と講師左の如し。

- 無産者政治學 角田 謙三郎 帝國主義論 河野 密
- 産業合理化と失業問題 田所 輝男
- 労働組合論 上原 愛一 無産政黨論 藤生 久
- 不労賃對策論 高橋 龜吉 プロ雄辯學 淺沼稻次郎
- 労働運動の發展 菊川 忠雄

四、其他、時局並に一般的な教育資料を出版部と協力して機關紙上に發表。また大衆黨の教育部と協力して、地方的政治學校には極力同盟の参加を指令して來た。

五、國際部

昭和六年度國際労働會議代表顧問議員等の選舉に對しては我が全國労働として當時の全國大衆黨労働組合政治連絡委

日本労働組合總同盟
同盟同志會
神戸市労働組合

六、調査部

昭和五年十月一日ブルジョア政府の行へる第二回國勢調査の日を期して、本同盟調査部は加盟各聯合會各組合並に支部に對して「組合調査」に關する指令を發し、十月一日を組合調査デーとして十月七日まで一週間のうちに調査完了を請求した。

右調査の目的は全國労働創立直後の組織並にそれに附隨する實情を統一的に調査すること及び加盟組合の調査事業に於ける訓練であつた。調査の範圍は

- (イ) 組合支部に就いては——組織上場名、支部加盟数、支部事務所、支部成立日及び競争關係、支部役員、支部基金の状況、一般的活動状態等
- (ロ) 組合に就いては——支部數、組合の役員、事務所、創立經過、本部基金の狀態その他支部の資料に關する事項
- (ハ) 聯合會に就いては所屬組合、役員その他事項に關する點

であつて、調査の成績は相當見るべき効果を收めた。即ち調査を完成して本部に送附せる聯合會組合並に支部の數は九聯合會、二八組合、四八支部であつた。勿論この數は我が全國労働の全體から見ると不充分ではあるが、當時關東關西その他全體を通じて各組合共争議激發の時でありながら右の調査結果を得たことは將來の組合調査實施に對して充分の可能性を

員會に於て友誼諸組合と協議の結果別項聲明書を連名にて發表し投票を棄權した。

次に本年九月下旬來訪せる國際運輸労働組合(アムステルダムインターナショナル系)の代表者エド・フィンマンに對しては、當時日本労働俱樂部に於て「俱樂部として歓迎すべし」等の意見も出たが、我が全國労働としてはこれに反對、結局各團面の自由とせしめた。

聲明書

國際労働會議そのもの本質が、労働協同を名とする労働新組織の爲めの國際的組織であり、從つて我國労働大衆と之に對して否認的態度を持つて居ることは、今更喋々するを要せざる所である。

唯、その代表者選出に際して、便宜上行使すべきか、又棄權すべきか、其際に於ける國內労働組合組織——其他の立場より考慮せられ來たのである。然し乍ら、本年度代表選出に就いて見ると、日本労働同盟外五團體より成る所謂右聯盟は、この職務統一の精神を無視し、却つて單獨にて選出権を行使する形勢を明かにしてゐる。

依つて我等はこれに對立的に代表を立補せしめる程の必要を認めず、茲に本年度代表選出権を棄權することを決するものである。

昭和六年一月二十七日

日本労働組合總聯合會
東電從業員組合
東京瓦斯工組合
東京市從業員組合
全國労働組合同盟
横濱市從業員同盟

證明したものと云へよう。

七、出版部

出版部の主要活動は機關新聞「全國労働新聞」の發行である。同盟本部出版部より發行する豫定の婦人組合員の機關紙(正義の光)は諸種の事情により日本紡織本部にその發行上の手續事務を一任した。

全國労働新聞第一號より第二十八號までを昨年六月より本年九月までの期間に發行した。別に號外を三回發行す。その發行部數は昨年以來順次増加し現に五萬部を發行しつゝある創立大會に於て中央委員會に審議を一任された「全國労働の運動方針書」は其後中央委員會の審議を経て昭和六年四月「労働組合は如何に闘ふべきか」(一部十錢)と題して出版され、廣く組合員の間に讀まれたり、ある。尙ほ機關紙の發行に對しては官憲の干渉甚だしく、殆んど發行の度に内容に對する干渉的注意をうけ、數回の「發賣頒布禁止」の處分をうけた。

八、婦人部 (省略)

九、法律部 (省略)